

[018]九州大学産学連携センター年報 : 18

<https://doi.org/10.15017/26849>

出版情報 : 九州大学産学連携センター年報. 18, 2013-02-22. 九州大学産学連携センター
バージョン :
権利関係 :



2. リエゾン部門、デザイン総合部門及びプロジェクト部門の協同事業

2.1 協同事業の目標

KASTEC は平成 6 年度の設立以来、「産学官交流による地域社会等への貢献」を目指し、次の 3 項目に係る産学官交流活動を展開しています。

- 1) 民間企業等との共同研究・受託研究等の推進
- 2) 産学官交流の場の提供と技術シーズの発掘
- 3) 産業ニーズの発掘と産学官連携共同研究プロジェクトのコーディネート の推進

2.2 民間企業等との共同研究・受託研究等の推進

平成23年度は九州大学において690件の共同研究（その一覧を資料附録5に掲載します）、552件の受託研究が実施されました。共同研究のうち20件が KASTEC レンタルラボにおいて実施されました（その概要を下表に掲載します）。

KASTEC レンタルラボにおいて平成23年度実施された共同研究

区分	使用実験室	使用責任者	所属・職	利 用 目 的
公 募	実験室 2 後	笹 田 一 郎	総院・教授	生体磁気計測のための大型分離型磁気シールドの開発
	実験室 3 後	笹 田 一 郎	総院・教授	磁気ブリッジを利用した電流センサの開発
	実験室 4 前	古 川 勝 彦	産学セ・教授	ソフトメカニクスⅡの研究開発
	実験室 4 後			
	実験室 5 後	古 川 勝 彦	産学セ・教授	オプト・エレクトロニクス機能性材料の超精密加工技術とそのデバイスプロセス技術に関する開発研究（10/1～）
	FS-302B	古 川 勝 彦	産学セ・教授	KSTC 事業の高度化に関する研究
		古 川 勝 彦	産学セ・教授	組み込み用途非接触 IC カードの研究開発
	FS-303	服 部 励 治	産学セ・教授	有機発光デバイスに関する研究
	FS-304	中 島 寛	産学セ・教授	カーエレクトロニクス用高機能 Si デバイス創成のための基盤技術研究開発
	FS-402	古 川 勝 彦	産学セ・教授	次世代ワイヤーハーネスの研究開発
	FS-403	古 川 勝 彦	産学セ・教授	特許調査分析システム開発
	FS-404	大 屋 裕 二	応力研・教授	小型・中型風レンズ風車の実用化研究（～6/17）
		古 川 勝 彦	産学セ・教授	オプト・エレクトロニクス機能性材料の超精密加工技術とそのデバイスプロセス技術に関する開発研究（10/1～）
	FS-501	佐々木 一 成	工院・教授	燃料電池自動車向け水素燃料適正診断センサーの研究
	FS-504	三 浦 則 雄	産学セ・教授	機能性材料の開発・評価
研 究 戦 略	FS-603	中 島 英 治	総院・教授	耐熱構造材料の高温変形挙動と内部組織変化の相関
	FS-604	間 瀬 淳	産学セ・特命教授	マイクロ波・ミリ波デバイスおよびシステムの開発と応用
	FS-301A	大 賀 祥 治	農院・教授	薬効キノコ類の栽培法の研究開発
	FS-401	古 川 勝 彦	産学セ・教授	次世代ワイヤーハーネスの研究開発
	FS-503	三 浦 則 雄	産学セ・教授	圧力スイング吸着法用高性能酸素吸着剤の研究
	FS-601	間 瀬 淳	産学セ・特命教授	マイクロ波・ミリ波デバイスおよびシステムの開発と応用

2.3 産学官交流の場の提供と技術シーズの発掘

(a) KASTEC セミナー

客員教授等を講師として招き、大学院生、学内教員及び地場の民間企業の研究者を対象とする KASTEC セミナーを、平成23年度は9回実施しました。

平成23年度 KASTEC セミナー開催一覧

[客]：産学連携センター客員教授

回	日 時・場 所	講 師	テ ー マ	聴講者数
150	23. 7. 7(木) 14:00～15:30 KASTEC 3階研修室	谷口 博文 氏 九州大学 産学連携センター教授	「地域経営を担う人材育成に関する事例研究」ー産学官連携による九州大学の試みー	25
151	23. 8. 2(火) 14:00～18:00 総合研究棟 (C-CUBE) 1階 筑紫ホール	【テーマ】「エネルギーの課題と展望」 ー今後のエネルギーの課題と展望を考えるー 堀 史郎 氏 九州大学 産学連携センター教授 近藤 道雄 氏 (独)産業技術総合研究所 太陽光発電工学研究センター長 工藤 和彦 氏 九州大学 東アジア環境研究機構 特任教授 林 潤一郎 氏 九州大学 炭素資源国際教育研究センター 教授 佐々木一成 氏 九州大学 水素エネルギー国際研究センター 教授	「イントロ：エネルギーベストミックスとは」 「太陽光の将来」 「原子力の将来」 「石炭エネルギーの将来」 「水素/燃料電池の将来」	160
152	23. 12. 2(金) 16:00～17:15 KASTEC 3階研修室	泉 順 氏 [客] 吸着技術工業㈱ 代表取締役社長	「オゾンマイクロバブルを利用したオゾン吸着反応による排水中有害成分の除去」	27
153	23. 12. 12(月) 10:30～12:00 産学連携センター デザイン総合部門 (大橋キャンパス) 3階セミナー室	妹尾 孝憲 氏 [客] (独)情報通信研究機構 ユニバーサルコミュニケーション研究所 専攻研究員 工学博士	「MPEG 標準化の新動向 (MPEG-V)」	13
154	24. 1. 13(金) 13:10～16:00 KASTEC 3階研修室	【テーマ】「デバイス材料としての窒化物半導体結晶の成長技術」 ーその現状と将来への提言ー 寒川義裕 ^{1,2} 氏 柿本浩一 ¹ 氏 ¹ 九州大学応用力学研究所 ² JST さきがけ 富谷 茂隆 氏 [客] ソニー㈱マテリアル研究所 松本 功 氏 太陽日酸イー・エム・シー(株)	「固体ソース AlN 溶液成長技術の提案」 「窒化物系半導体および発光デバイスにおける結晶欠陥 ～結晶成長時およびプロセス作製時に生じる欠陥～」 「GaN 量産用 MOCVD 装置の現状と生産性向上の課題」	26

回	日 時・場 所	講 師	テ ー マ	聴講者数
155	24. 1. 18(水) 17:00～18:30 芸術工学部 (大橋キャンパス) 3号館 322教室	船場ひさお 氏 [客] フェリス女学院大学音楽学部音楽芸術学科 専任講師	「日本のサウンドスケープ・デザインの歴史と今」	20
156	24. 2. 3(金) 14:00～15:30 KASTEC 3階研修室	金山 敏彦 氏 [客] (独)産業技術総合研究所 ナノ電子デバイス研究センター長	「つくばナノテク拠点 (TIA) でのナノエレクトロニクス研究開発」	18
157	24. 2. 13(月) 15:00～17:00 芸術工学部 (大橋キャンパス) 7号館1階ワークショップ	秋重 邦和 氏 [客] 大日本印刷㈱ 常務取締役 亀田 和宏 氏 DNP ソーシャルイノベーション研究所長	「ソーシャル・ビジネスからイノベーションへ 1. 拡印刷の始点 2. イノベーションの視点」	13
158	24. 2. 29(水) 13:00～16:30 KASTEC 3階研修室	近藤 克己 氏 [客] シャープ㈱ 研究開発本部 材料・デバイス技術研究所長	「フラットパネルディスプレイの発展と共に歩んで」ー過去・現在・そして未来へー	26

(b) ホームページ

KASTEC のホームページ上で、KASTEC の業務や行事予定、各部門の研究・実務等の詳細情報をご覧いただけます。

KASTEC ホームページアドレス <http://www.astec.kyushu-u.ac.jp>

2.4 三部門の協同事業の現状と今後の課題

平成23年度の協同事業活動を概括すると以下の通りです。講演会などの活動として、KASTEC セミナーを9回開催し、民間企業などから多数の経営者、研究者、技術者などの参加があり、技術相談や情報交換などが活発に行われました。広報活動としては年報を発行したほか、学協会や産業界への有用な情報源とするためホームページを随時リニューアルしました。

本学では、平成23年度に690件の共同研究が実施されました。下記表は共同研究・受託研究件数の年度別推移ですが、件数が順調に増加していることが分かります。上記の産学官交流活動が起点となり、民間企業等との具体的な共同研究・受託研究につながっていると考えられます。

共同研究・受託研究件数の推移

年度(平成)		10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23
共同研究 件数	九大 芸工大	92 13	90 16	100 15	128 17	179 27	243	329	439	567	579	611	612	659	690
受託研究 件数	九大 芸工大	247 4	266 4	273 6	197 9	300 8	337	403	445	515	560	575	554	525	552

現在 KASTEC では、これまで行ってきた産学官交流活動をより効果的に産学の共同研究等に結びつけるため、それらのあり方、実施形態等の検討を進めています。本センターの産学官交流活動に引き続きご支援賜りますようお願いいたします。